

平成22年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

2項 環境衛生費

西部総合事務所生活環境局（電話：0859-31-9320）

4目 環境保全費<地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
大山トイレマナーアップキャンペーン事業	1,714	1,826	△112				1,714	
トータルコスト	4,134千円（前年度 4,312千円）〔正職員：0.3人〕							
主な業務内容	検討会運営、事業広報、イベント企画実施、関係機関との調整							
工程表の政策目標（指標）	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

国立公園大山でのトイレ利用のマナーアップを図るため、キャンペーンを実施するとともに、大山頂上トイレの汚泥をボランティアにより担ぎ下ろす取組みを実施する。

2 主な事業内容

- (1) 大山トイレマナーアップキャンペーンの推進（275千円）  
大山の美しい自然環境を子供たちに伝え残していくため、大山頂上トイレのあり方や登山時における用便について、登山者一人ひとりに考えてもらい、マナーやモラルの向上を図る。
- (2) 大山頂上トイレ汚泥キャリーダウン・ボランティアの実施（1,108千円）  
県が管理する大山頂上トイレ浄化槽内の沈殿汚泥の運搬を、出来るだけ自然環境に負荷を与えないよう、人力による汚泥の担ぎ下ろし作業をボランティアイベントとして継続実施する。
- (3) 大山トイレマナーアップ検討会の実施（331千円）  
学識経験者、地元、行政等で構成する「大山トイレマナーアップ検討会」を開催し、大山トイレマナー五ヶ条の普及啓発や携帯トイレの使用推進等の検討を行う。

3 これまでの取組状況、改善点

- (1) マナーアップキャンペーン  
平成20年9月1日よりスタート
- (2) キャリーダウン・ボランティア  
第1回：平成20年9月28日 参加者 451名 作業量 1.2トン  
第2回：平成21年9月27日 参加者 433名 作業量 1.0トン
- (3) マナーアップ検討会  
第1回：平成21年8月21日
- (4) 改善点  
平成22年度にはトイレのないユートピア避難小屋に携帯トイレブースを増設する予定であり、これを契機に携帯トイレの普及、トイレマナーの向上を図りたい。今後も、大山トイレマナーアップ検討会の検討結果を踏まえながら、大山トイレマナーアップキャンペーンをより一層推進する。